

水源かん養機能モニタリング現場説明資料

1 目的

- 水道水源基金事業のリニューアルの中心になる間伐事業をより効果的に行うため、強度間伐等の手法の効果について定量的に計測する。
- 間伐の効果について科学的手法で数値として明らかにすることで、水道水源林事業全体の意義を明確にし、市民等への普及啓発をより効果的に行う。

2 事業期間

2015(平成27)年4月～2025(平成37)年3月の10年間

3 調査区の設定

【2015年旭調査区】～城山市有林2箇所

- 60%間伐と対照区（無施業区）

【2015年小原調査区】～大洞市有林4箇所

- 60%間伐と対照区（無施業区）、30%間伐と対照区（無施業区）

4 調査項目

- 降雨量
- 林内降雨量
- 樹幹流量
- 地表面流量
- 土砂流出量等

